

—旧レニングラード国立バレエ—

ミハイロフスキー劇場バレエ & ミハイロフスキー劇場管弦楽団

優雅に舞う儂き白鳥に見惚れ
美しく可憐な群舞に心奪われ…
新春の空に舞う、
美しき白鳥の物語

Swan Lake 白鳥の湖

〈全4幕〉

2016

1/11 (月・祝) 午後3時開演
神奈川県民ホール

S席14,000円 A席12,000円 B席10,000円
C席8,000円 D席6,000円(税込)

●お申込み・お問合せ

神奈川県芸術協会 045-453-5080
www.kanagawa-geikyo.com

●プレイガイド

チケットかながわ 0570-015-415

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード445-986)

イープラス eplus.jp/

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード37639)

楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>

光藍社 050-3776-6184

●8月28日(金)より発売

〈予定ソリスト〉

エカテリーナ・ボルチェンコ(オデット/オディール)

ヴィクトル・レベデフ(ジークフリート王子)

管弦楽:ミハイロフスキー劇場管弦楽団

振付:M.プティパ/L.イワノフ/A.ゴルスキー

改訂演出:A.メッセレル 再演出:M.メッセレル

作曲:P.チャイコフスキー

※本就学児童の入場はお断り致します。

※病気や怪我などやむをえない事由により出演者が変更となる場合がございます。

正式なキャストは当日発表となります。また、公演が中止となる場合を除き出演者変更に伴う払い戻し、変更等はお受けできません。あらかじめご了承ください。

主催:神奈川県芸術協会 共催:神奈川県民ホール

Mikhailovsky Theatre Ballet * Swan Lake



新年のバレエ初めと言えば、彼らしか考えられない!

芸術の都、サンクトペテルブルグにおいて実に180年の伝統と歴史を持つ劇場の誇りであるミハイロフスキー劇場バレエが、永遠のスタンダード「白鳥の湖」を引っ提げて2016年新春も来日いたします!

白鳥に姿を変えられ、夜の間だけ人間に戻れる呪いをかけられたヒロイン・オデットと、王子ジークフリートの悲運な愛の物語。今回、そのヒロインを務めるエカテリーナ・ボルチェンコは、スラリと伸びる恵まれた手足の美しさに加え、徹底的に磨き抜かれた超絶の技巧で近年急激にその評価を高め、今

や劇場を代表するプリマのひとり。そして王子役を任されたヴィクトル・レベデフは20代でありながら、ここぞという大事な公演で度々ソリストとして抜擢される劇場期待の若きダンサー。レベデフは昨年に引き続いての横浜登場ということで、ファンとしてもその成長具合を確認しないわけにはいきません。

ロシアのバレエ団らしい恵まれた体躯&容姿を最大限に魅せるミハイロフスキー劇場バレエによる美しくも儂い「白鳥の湖」。これを観ずして、一年は始まりません!

Ekaterina Borchenko

◆エカテリーナ・ボルチェンコ Ekaterina Borchenko

サンクトペテルブルグ生まれ。ワガノフ・バレエ学校で名教師コワリョーフのクラスで学び、2000年に卒業した。2000年~2003年にモスクワ音楽劇場バレエ、2003年~2007年にベラルーシ国立ボリショイバレエで活躍後、2008年にミハイロフスキー劇場バレエに入団。主なレパートリーは、『白鳥の湖』のオデット/オディール、『パヤデルカ』のニキヤとガムザッティ、『眠りの森の美女』のオーロラ姫、『海賊』のメドーラ、『ジゼル』のジゼル、『ドン・キホーテ』のキトリ、『くるみ割り人形』のマーシャ、『エスメラルダ』のエスメラルダ、『パフチサライの泉』のザレマ、『ロミオとジュリエット』のジュリエット、『スバルタクス』のワレーリアのほか、ドゥアト作品などコンテンポラリーも踊っている。2005年、モスクワ国際バレエ・コンクール入賞。2006年、ヴァルナ国際バレエ・コンクール銀メダル受賞。2014年ロシア功労芸術家の称号を授与。

◆ヴィクトル・レベデフ Victor Lebedev

1991年、サンクトペテルブルグ生まれ。ワガノフ・バレエ学校在学中、2007年に「ルジマトフ賞」受賞、2008年には、第1回全ロシア・コンクール「Alternative」で優勝。2010年に卒業後、ミハイロフスキー劇場に入団した。レパートリーは、『眠りの森の美女』のデジレ王子、『パヤデルカ』のソロル、『ラ・シルフィード』のジェームズ、『ラウレンシア』パド・シス、『グラン・パクラシック』、ドゥアト振付「プレリユード」、「ドゥエンデ」。劇場期待の大型新人である。

◆ミハイロフスキー劇場バレエ Mikhailovsky Theatre Ballet

サンクトペテルブルグの国民的詩人プーシキン像を中央に据えた芸術広場に、ロシア美術館と並んで位置するミハイロフスキー劇場バレエ。設立当初はコミカルで実験的な作品を得意としてきたが、徐々にレパートリーを拡大。現在は古典作品の復活上演、これまでにない新たなバレエ作品の創造、子供を対象としたレパートリー拡充という三点に重点をおいている。創立175周年を目前にひかえた2007年にはレニングラード国立バレエからミハイロフスキー劇場バレエに名称を改め、今ではマリンスキー劇場と人気を二分するカンパニーへと成長を遂げている。



エカテリーナ・ボルチェンコ



ヴィクトル・レベデフ



ミハイロフスキー劇場管弦楽団